自己評価結果公表シート　（令和3年度）

学校法人育保学園　アエレくまのだ

１．本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

２．本園の教育・保育のねらい

・自ら考え、行動する力を育てる。 ・人を思いやる気持ちを育てる。 ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。 ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

・主体性を大事にした保育の見直し ・保護者支援の充実 ・サーキット遊びの充実と見直し

４．評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
・主体性を大事にした保育の見直し	・外遊びの環境において、毎月一度環境面の見直しを行い、子どもの興味を引くような遊びを設定すると共に、普段の子どもの姿を見てタイムリーに環境設定を行うようにする事で、子どもが飽きる事なく、毎日の外遊びを楽しむ姿が見られた。隔日で行っている園庭環境の反省時に出た内容がすぐに準備できていない時があった。今後はフリーの職員も含め協力して準備を進めるようにしていきたい。 ・外遊び前に室内で音楽をかけてダンスを行っていた。やりたい子どもだけが参加するようにしていたが、ワンフロアで音楽を流すと、おおかた子どもが参加する形になっていた為、室内ではなく、園庭で音楽を流して踊りたい子どもが参加できるように変更した。 ・室内環境においても職員会議で現状の見直しを行い、他施設の環境を参考にしながら当園において取り入れられる物を模索して、環境設定を行った。環境面を変更する事で子どもがいきいきと遊ぶ姿が見られた。
・保護者支援の充実	・令和2年度は保護者参加の行事をほとんど行う事ができなかった為、職員間で話し合い感染対策を十分に行う事で、令和3年度は少し行事を行う事ができた。 ・感染者数が多い際に、保護者は園内に入らず玄関先で子どもを引き渡すようにしていた事で、話す時間も限られ、信頼関係を築くのが難しかった。また保護者同士の繋がりも希薄になっていたため、自己紹介カードを記入してもらい掲示板に掲載する事で顔と名前が一致できるようにした。 ・園内整備の際にお父さんに協力頂き、枕木の撤去等を行った事で、お父さん同士の交流も少し持つ事ができた。こういう機会は次年度も引き続き行っていきたい。
・サーキット遊びの充実と見直し	・今年度も同様に園庭の一部にサーキット遊びを行える環境設定を行った。サーキット遊びのバリエーションも数パターン用意して、日替わりで変更するようにしてきた。園庭で使えるサーキット用具に限りがある為、次年度は用具の見直しと幼稚園にサーキット遊びに詳しい職員がいる為、助言をもらいながら環境設定を行っていきたい。

５．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者のスキルアップ	・外部の研修に参加した職員が研修報告をする機会を十分にとれず、学んできた事の共有ができていない。研修報告の時間設定をしていきたい。また法人間での職員の交流や公開保育等を行う事で、それぞれの学びへと繋げていきたい。
・保護者支援の充実	・コロナ禍でまだ十分には行事等を行う事が難しいが、withコロナで感染状況を鑑みながら積極的に行事を進めていきたい。また園での子ども達の姿を動画等を使って発信していくようにしたい。
・地域支援の充実	・年度末から園庭開放を再開しているので、次年度も行っていきたい。また出前保育で近隣の公園に玩具等の遊びを用意して地域の方が無理のない形で参加できるようにする事で保育園との繋がりを持てるようにしていきたい。